

特定非営利活動法人 りんりん

りんりん

みんなの力が集まった

## 「童話の村 秋まつり」

この会報が皆様に届く頃は「童話の村 秋まつり」が終わり、静かになった矢勝川の土手を秋風が吹いていると思います。

この便りを書いている今、彼岸花の最盛期は過ぎましたが秋まつり開催中です。今年新たに設けたシャトルバスは、しばらく待たないと乗れない盛況と聞きました。

第2回「童話の村 秋まつり」の新たな企画として有料お休み処「ごえん」をりんりんが担当しました。新美南吉の生家のすぐ西側にあり、槇の生垣に囲まれた築後百年以上のお屋敷は、南吉作品「塀」のモデルといわれています。縁あって四年前、ご当主遠藤大二様の見守り役として私達夫婦が移り住み、二年間住ませていただいたお宅でした。大二様がお亡くなりになった後雨戸が閉められ、ひっそりとしたお屋敷を目にするたび淋しく思っていました。今回の秋まつりのおもてなし処としてお借りすることを考えつきご相談しましたところ快く承知していただきました。持ち主の方の多大なご尽力がありましたこと心からお礼を申し上げます。

この八日間の開催中約七百人の方々がお立ち寄り下さいました。またりんりんの会員及び小学生を含む延べ百人のボランティアに協力していただき、大きなエネルギーとなって支えて下さったことに感謝いたします。

半田市は岩滑地区を“景観形成重点地区”として、里山風景や南吉の世界を感じることができる町並みとして、指定したいと考えているようです。見慣れた風景がお宝であることに気づき、それを大切に守る努力をしていきたいと思う秋です。

理事長 村上 眞喜子



## “女実業家として 生ききる！”



おお たち  
大 嶽 ことさん(86歳)

お声が大きく、口調がはっきりしていて、かなり早口、これが大嶽さんの第一印象。とても実年齢には見えずお若い。

82歳の時、神棚のお札の位置を直そうとして誤って高い椅子から落ち、2年あまりも入院するアクシデントに見舞われた。

それまでは、息子さんに経営を譲った会社に現役としてお勤めしていた。

大嶽さんは半田市内の大きな材木商の娘として生まれ育ち、やがて結婚して、ご主人の家業である電気工事の会社を手伝う。

40歳ごろ、ご主人を病気で亡くしてからは、自ら社長として60人の従業員を指揮してきた。根が活動的な大嶽さん、若い頃からスクーターに乗っていたし、自動車の免許も取り、60年間乗ってきた。

仕事がらみでゴルフにも行ったし、海外旅行もヨーロッパ各国、オーストラリアとよく行った。骨董の趣味があるので、出かけるとその国の古いものを買って来るのだった。

外出するばかりではなく、会社の事務員さんに編み方を教えてもらって、家ではよく編み物をした。

現在の家は自分の力で建てたもので、40歳代からここに一人で住んでいる。家業を継いだ息子と二人の娘があり、近くに住む娘がよく来てくれる。

娘時代に望んだが行かせてもらえなかった業大へ、いま孫娘が通っていると、ご自分の夢を託される大嶽さん。

長い間ご自分の意思を貫いて生きてこられたお姿は、今もって毅然たるものがある。

## 半田商工会議所優良従業員表彰!

りんりんヘルパー 迫 菊代さん

9月18日午後、半田商工会議所「平成21年度会員及び会員事業所優良従業員表彰式」において、迫菊代さんが表彰されました。

迫さんは、平成10年10月以来あしかけ11年の間ヘルパーとして活動されています。

今年9月からは在宅介護の仕事を離れ、デイサービスや、生き生きサロンの調理係として腕をふるっておられます。

当日の迫さんのお話です。

「病弱だった上の息子が嫁さんをもらったのをきっかけに、人さまのために何かしたいとヘルパーを始めたんだけど、もう10年経ったんだよねえ。仕事してれば、淋しいことがあっても気が紛れてよかった。この9月からは在宅介護をやめて料理専門になったけど、この歳になっても好きなことがやれるって、幸せだと思うよ。これからも、やれるうちはやって行きたいわねえ。」

淋しさも辛さもおだやかな笑顔に包み込んで、ゆっくり話される迫さん、受賞おめでとうございます。



## 公益信託「大野良久」記念老人福祉基金より 助成をいただきました

毎週木曜日、「お出かけサロン」のランチを食べに近所のご婦人グループ、一人暮らしのお年寄りなどがりんりんを訪れます。玄関には会員さんの手作りの野菜が並べられ、それを目当てに買いに来る常連さんも加わり、おしゃべりの輪ができます。今年度より、半田市の地域支援事業として委託を受け、「お互いに支えあう地域作り」を推進していきます。訪れる方々が安心して楽しい時間を過ごしていただけるように、玄関ポーチの段差改善・日除けの設置・駐車場整備等の費用の助成をいただくことができました。

おいしいランチを食べにぜひいらして下さい。

事務局 榊原 真紀



## 第5回りんりん作品展

さわやかな風の吹きわたる初秋の一日、矢勝川の彼岸花も見頃をむかえ、たくさんの方がりんりんの「作品展」を見に来てくれました。

野外では、フランクフルト・ピザ・インド人シェフの作る本格カレーやタンドリーチキンの店が客の足をひきとめます。



秋の夜長にいかが？



りんごクラブのウッドデッキでは、バザーも開かれ掘り出し物を探す人と店の人の「いくら？」「100円です」「…もう50円にしとくわ」と駆け引きの声も聞こえます。



わた



掘り出し物探すぞ!!

絵てがみコーナーでは、生徒さんの作品が壁一面に…。和紙に絵を描いてランプに仕立てたものもなかなかの趣です。「絵てがみは人を元気にしたり、暖かくやさしい気持ちにしてくれたり、心を届けるのにとてもいいですよ」と先生。ちょうど部屋にいた7歳の男の子は大胆な筆でいっきに描き終わると「楽た。来年もこようっと!!」げました。



さをり織りでドレスアップ

さをり織りコーナーや上着など、たわせでできたかもしだし—スターの作品でし橋

## 第2回 童話の村 秋まつり お休み処「ごえん」

「ごえん」では、受付のところでお金を払い、小盆に載せられたお茶のボトル、お菓子、湯飲みを受け取ると、好きな場所に自由に座ります。お茶とお菓子には、りんりんデイサービス利用者さんたちが手作りして下さった、折り紙のキツネと小さな彼岸花が添えられて、いっそう岩滑ならではの風情が感じられます。お部屋のそこそこには、盆栽が置かれ和の空間を見事に演出していて心が和みます。

また、黒光りする年代物の筆筒二棹も置かれ、その引き手は結び文風に一つ一つ和紙で結ばれており、いにしへの床しさを偲ばせます。

お茶を飲んでいると聞き覚えのある声が入るのは、岸田今日子さんの語る「ごんぎつね」のCDで、時間の余裕がある方には格好のひとときとなるでしょう。

お土産コーナーには、こむぎせんべい、岩滑サブレ、たまりげんこつ、ふところもち、手描きの絵のはがきなどが用意されています。



おりがみのキツネとー



・ピザ・  
カレーや夕  
の足をひきと

秋の夜長にいかが？



観音様も一服

ウッドデッキでは、掘り出し物を探す人「いくら？」「100円です」50円にしとくわ」と駆け引も聞こえます。



わたしも挑戦

絵てがみコーナーでは、生徒さんの作品が壁一面に…。和紙に絵を描いてランプに仕立てたものもなかなかの趣です。「絵てがみは人を元気にしたり、暖かくやさしい気持ちにしてくれたり、心を届けるのにとってもいいですよ」と先生。ちょうど部屋に来ていた7歳の男の子は大胆な筆使いでいっきに描き終わると「楽しかった。来年もこようっと！」と声をあげました。



どれがいいかな～



レスアップ

さをり織りコーナーでは、マフラーや上着など、たくさんの糸の組み合わせでできた作品が独特の色合いをかもしだしています。“体験”はコースター作りです「自分の力で一つの作品ができて上がる」という充実感でしょうか。大人も子供も夢中で織機におかっています。



オイシイヨ!!

## まつり えん

払い、小盆に載せられたお茶のボトル、お自由に座ります。お茶とお菓子には、りんして下さった、折り紙のキツネと小さな彼の風情が感じられます。お部屋のそここしていて心が和みます。置かれ、その引き手は結びしえの床しさを偲ばせ

が耳に入るのは、岸田で、時間の余裕がある

岩滑サブレ、たまりげんなどが用意されています。



おりがみのキツネと一緒に

小物づくりのグループの展示はいろんな手持ちの布を組み合わせで作ったタペストリーやバッグ・ベストなど。色や柄のセンスが引き立っています。この道10年という方の手によるイヤリング・ネックレスなどのビーズアクセサリーはその美しい輝きが部屋全体にきらびやかさを添えています。

平成21年(2009) 10月

NO.41

発行/特定非営利活動法人 りんりん  
半田市岩滑高山町5丁目4番地  
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623  
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

**ありがとうございます** 皆さまの温かいご支援が  
りんりんを支えています。

### ご寄付ありがとうございます

榊原志づゑ 山本のぶ江 藤野 政春 稲生 富子  
榊原 照子 荒木 琴美 下山 明美

(敬称略)

### 平成21年度賛助会員

鈴木 義一 平山 信子 榊原 幸宏 竹本 可代

(敬称略)

### 産後期支援ホームヘルパー派遣をしています!!

半田市は乳児を育てている母親のお手伝いをするためのホームヘルパーを派遣しています。

○申し込み・問い合わせ

半田市福祉部児童課

Tel.(0569)21-3111内線295

### りんりんのできごと

#### 研修会

7月「事故防止対策」.....23名

8月 休み

9月「緊急時の対応」.....32名

	7月	8月	9月
絵手紙	20名	20名	29名
さをり織り	8名	7名	14名
生き活きサロン	148名	82名	115名
小物づくり	7名	休み	10名

(延べ利用人数)

#### 会員数

協力会員	利用会員	賛助会員	合計
112名	55名	59名	226名

(H21/9/30 末現在)